

平成29年第4回議会定例会大綱説明及び行政報告

(H29, 12, 7)

本日は、平成29年12月第4回町議会定例会をお願いいたしましたところ、議員各位におかれましては、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

提出いたしました議案のご審議に先立ち、9月議会定例会以降の町政の取り組み状況等につきまして、ご報告等をさせていただきます。

今年も残すところ、ひと月を切りました。各地区の花祭も始まり、この時期になりますと冷え込みも厳しさを増してきており、確実に冬が近づいていると感じられる気候になってきました。11月中旬からは、全国町村長大会をはじめ、各種関係団体の総会や要望活動で東京への出張が多く、国会議員や官庁などへも積極的に要望活動を行ってまいりました。また、12月2日には愛知県市町村対抗駅伝と続き、現在、風邪気味で少し体調を崩していますが、頑張って公務に努めてまいりたいと思っています。町民の皆様、並びに議員各位におかれましては、風邪などひかれませんよう、くれぐれも健康に留意し、ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

さて、今年は4つの台風が上陸し、大雨や強風が全国各地を襲いました。幸いにして、本町においては、大きな被害が発生しなかったことに安堵しているところであります。しかしながら、いつ起こるか分からない災害における備えは、常日頃からの訓練含め、定期的実施していかなければならないと考えています。全国で被害にあわれた皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧を心より願っております。

それでは、少し時間をいただき主な取り組みの報告をさせていただきます。

先ずは、10月11日から25日にかけて、町内8か所で地区懇談会を開催し、新保育園の整備について、地域包括ケア推進計画・医療センター施設整備基本構想・基本計画(案)中間報告について、又まちづくり基本条例についてと空き家制度についての4議題を中心に説明し、意見交換をさせていただきました。151名の参加者がありましたが、皆様方の貴重なご意見等は今後に活かしてまいります。

次に今後の保育園を考えていくための保護者や保育士等の皆さん方を対象に「子育て講演会」を10月7日に東栄グリーンハウス研修室において開催しました。あいち障害者センター理事長の近藤先生を講師に迎え、「子どもが育つ道すじの中での保育の役割」をテーマにお話をいただき、皆さんで勉強し、今後の

保育の在り方を見据える貴重な機会となりました。

若者たちが企画から運営までを行い実施する第6回星空音楽祭が10月8日（日）に開催し、延べで5,600人の来場者があり、関わってくれた全ての方の力により、素晴らしいイベントを作りあげることができました。今後も若者が中心となり、一層内容に磨きをかけ、この町から音楽文化を発信してまいります。

11月3日に開催しました東栄フェスティバルは、昨年に引き続き三遠南信地域の伝統芸能シリーズとして、貝津田棒の手（設楽町）、遠山霜月祭（飯田市）、寺野ひよんどり（浜松市）の出演もいただき、花祭は河内、中在家、足込の保存会により盛大に開催できました。来場者数は延べで約14,000人でありました。昨年度より2,000人の増となりました。来年度は30回となりますので、趣向を凝らし記念大会にふさわしい内容を検討してまいりたいと考えています。

次に来年度から東三河広域連合で介護保険がスタートすることとなるため、介護保険統合に係る住民説明会をグリーンハウス研修室で開催しました。今後も保険料も含め、しっかりと情報を皆様方に伝えてまいりますので、よろしくお願い致します。

対話から生まれる心の通う町政の実現に向けて、また、よりよいまちづくりを行うため、町長と気軽に語り合える場として、10月16日と24日に町長室を開放し、みなさんと話し合いをする機会を設けさせていただきました。2日間で1団体を含め13名の方にお越しいただき、保育園をはじめとする子ども子育てについて、また、まちづくりについてなど、色々なお話ができました。大変有意義な時間が持てたこと感謝しています。今後も機会を設けて、続けてまいりたいと考えています。

また、「町民の声を町政へ」での文書での受け付けも、引き続き行ってまいります。

そして、11月の21日から3日間、各地区のおいでん家にお邪魔して、町政報告をさせていただき、皆さん方と意見交換をさせていただいたところであります。そして、おいでん家の場所でもある各集会所へ目安箱を設置させていただき、ご意見やご要望をお寄せいただきたい参考にさせていただくこともお願いしてまいりました。今後も「みんなの声を町政に」をモットーにまちづくりを推進してまいります。

観光まちづくり協会については、第2回理事会を10月20日に開催し、今年

度の第2四半期の業務報告を行い、今後の取り組みなどの協議を行いました。9月30日現在の会員数は150名です。10月から1月中旬までの期間を会員加入増強キャンペーンとし、役員と職員が一人平均3名の会員を集めることとし、会員数200名を目指し会員数の増加による組織力の強化を図ってまいりますので、ご協力をお願いします。主な事業としては、観光まちづくり事業として、毎月1回テーマを決めてコミュニティカフェを開催しています。また、会報誌の発行も9月15日に第2号を発行しました。ブランドイメージ構築事業では、ふるさと納税返礼品で事業者同士の交流によるコラボ商品の提案など、新たな商品が出来上がりました。そして、なおり事業については、4月から9月までの体験参加者数は743名となっており、順調に増えております。観光宣伝事業については、県内外でのPRや海外プロモーション（台湾）活動も行い、インバウンドの取り組みのきっかけとなっています。旅行業者はじめ視察も積極的に受け入れています。ポスターやチラシなどの受託事業も順調に推移しております。今年度の後半も積極的な取り組みを進めてまいりたいと思っています。

漁協関係では、9月15日に高知県高知市で開催されました。「第20回清流めぐり利き鮎会」において、初のグランプリを獲得しました。参加された280名の舌で吟味したものです。全国の参加58河川、その中で最も優れた鮎を育てた河川がグランプリであります。利き鮎会を通して全国に誇れる振草川（大千瀬川）の河川環境の良さが証明されました。これを機会に、今後も漁協組合と一緒に、振草川活性化計画を策定し、取り組みを進めてまいります。友好自治体提携を結んでいる大治町へも鮎を贈らせていただきました。また、大治町文化展では、東栄町コーナーを設置いただき、チェーンソーアート作品やパネルなどで東栄町の紹介をいただきました。今後も更なる交流を続けてまいりたいと思っています。

特産の鶏肉を使ったチキングルメで町おこしを目指す。「鶏の市イベント」がありますが、チキングルメレシピコンテストの最終審査を11月26日に行い、豊橋創造大学短期大学1年の近藤さんが「鶏もも肉のヘルシートマト煮」がグランプリとなりました。応募は東三河地域から190点あり、大学生、高校生、一般など幅広い世代が応募していただきました。町内飲食店においては、チキングルメのスタンポラリーも行っていますので、地域が育てた味を発信し、まちの活性化につなげていきたいと思っています。

次に移動販売車の状況であります。4月から9月までの売り上げは7,693千円で、平均客単価は1,896円、平均月利用人数は676人となっています。

す。

ふるさと納税については、8月10日からインターネットの「ふるさと納税サイト：さとふる」での申し込みがスタートしたところではありますが、11月末現在での寄付額は92件で3,587,000円となっています。前年度に比べ件数で77件増、金額では3,084,400円の増となっています。(28年度15件、502,600円：11月末)人気の返礼品は、東栄チキン、名古屋コーチン、とうえい温泉(健康の館)、干しシイタケとなっています。

町民代表21人と町職員14名による検討委員会により平成27年10月から策定作業を進めてきた「まちづくり基本条例」については、31回の会議のほか、一般からの意見募集、地区懇談会での説明や議会への説明などを経て、条例案をまとめ提出いただきました。今議会に上程し町の最高法規として、継続的なまちづくりに反映させていくこととします。作って終わりではないため、住民向けのキックオフシンポジウムを2月下旬に開催する予定であります。

空き家改修の補助金(補助限度額50万円)については、すでに2件の申請がありました。議会に2件分の補正予算をださせていただきましたが、これについても、まもなく申請が上がってくる予定です。

次に新保育園についてであります。プロポーザル審査により、11月に設計業者を選定し、設計に着手をしております。保育園職員との懇談会も12月5日に開催しており、職員や保護者は12月9日と12日に設楽町の新しい保育園(宝・名倉など)の視察研修を行う予定であります。また、両園での行事や保育方法などすり合わせや、保護者との話し合い、小学校との調整など、もうすでに始めていますが、今後もしっかりと進めてまいります。

5月からスタートさせていただいた地域包括ケア推進協議会も11月までに5回の開催をいただき、地域包括ケア推進計画中間報告及び医療センター施設整備基本構想・基本計画の最終案のまとめに入っているところであります。また、それぞれの部会も11月までに、医療介護部会は12回、生活支援部会では11回、総合統括機能部会においては9回、庁内部会も11回と会議を重ねていただきながら、最終案をまとめるために協議を重ねていただいております。最終案を受けて、議会へも報告しご意見をいただき、成案としてまいりたいと考えています。

一方で、医療法人せせらぎ会については、指定管理期間も1年であるので、12月4日の理事会・評議員会において、解散を決め、解散手続きに入るこ

とを全員の賛成で決定したということであります。

来年度からの公設公営に向け、スケジュールどおり進めてまいりたいと思います。随時報告をさせていただきますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

東栄 IC（仮称）周辺整備構想については、議会全員協議会でご説明しましたが、地権者のご理解が得られない状況から、今の場所は一旦見送ることとなり、当初予算の委託料は全額減額することとしました。

市町村土木補助事業で実施します町道岡本大森線の歩道設置工事については、本郷まつりの終了を待って工事を発注し、現在工事に着手しています。

次に、三遠南信自動車道についてであります。12月4日に浜松河川国道事務所への提言活動を行ってまいりました。佐久間・東栄間につきましては、平成30年度の共用に向け、工事は順調に進捗しているようであります。現在仮称であります東栄 IC、佐久間第1トンネルについての正式名を決める時期に来ていますので、何か良い案がありましたら、ご提案ください。また、東栄・鳳来峡間については、8月下旬から、24時間体制でトンネルの掘削工事が始まり、地元の方々のご協力もあり、順調に進んでおります。海老島箇所の工事もまもなく始まるようにお聞きしております。

月バイパスに関係しての奈根工区、一般国道151号道路改築工事につきましては、先の議会全員協議会において、愛知県とともに説明をさせていただきましたように、スケジュールに沿って今後しっかりと進めてまいりますので、ご理解のほどお願いいたします。

簡易水道については、12月4日に愛知県の関係部局と愛知県議会に来年度の補助金要望などを設楽町と豊根村と一緒に要望活動をさせていただきました。峰野県議会副議長にもご同席いただき、ご助言をいただいたところであります。

12月2日には、愛知県市町村対抗駅伝大会が、長久手市モリコロパークで開催され、議長、副議長はじめ議員の方々や町民の皆様、学校関係者の方々に、応援に駆けつけていただきました。結果は昨年と一っしょでしたが、町を代表して走っていただいた選手の皆さんはじめ関係者の方々には、本当に最後まで頑張ってくださいました。心より感謝を申し上げます。

最後に、来年度の予算編成に向けて準備をしておりますが、ご承知のように総務省の概算要求は、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額について、平

成 29 年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質同水準を確保することとし、地方交付税についても総額確保の観点から 15 兆 9,000 億円余が要求されております。

国の予算編成や税制改正大綱、年末までに取りまとめられる地方財政対策などは、本町の来年度予算にも大きな影響を与えますので、引き続き情報収集に努めながら、その動向を注視していかなければいけません。また、現在策定を進めています国の第 1 次補正予算についても、関係省庁や愛知県からの情報を的確に捉え、町としても迅速な対応が必要であると考えています。

来年度は保育園の建設も控えていますので、しっかりとした財源を確保し、将来にわたっての健全財政の維持、安定した財政運営に留意し、総合計画をはじめ過疎計画などに沿って、着実な事業を推進してまいります。その結果により、この町に住んでよかった、住んでみたいと思えるようなまちを目指し、平成 30 年度予算編成を鋭意進めてまいります。

大変長くなり申し訳ございませんでしたが、9月議会定例会以降の主な取り組みなどについて、ご報告させていただきました。

それでは、今議会に上程いたします議案等についてであります。

今回議会に上程いたします議案等につきましては、議案 19 件、承認 1 件、諮問 1 件でございます。合わせて 21 件を上程いたしますので、よろしくご審議のほどをお願いいたします。

では各議案について簡略に説明いたします。

承認第 4 号 平成 29 年度東栄町一般会計補正予算（第 6 号）の専決処分の承認を求めることについて

平成 29 年 10 月 22 日執行の衆議院議員総選挙に早急な対応をするため、補正予算を編成する必要が生じましたが、議会を招集するいとまがなかったため専決処分としましたことに対して承認を得るものです。補正額は、690 万 8 千円の増額です。

議案第 62 号 東栄町まちづくり基本条例の制定について

東栄町のまちづくりを推進するために平成 27 年度から町民とともに策定作業を行い、まちづくりに関する基本的な理念及び事項を条例案としてまとめ上程するものです。

議案第63号 東栄町一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について

一般職の任期付職員の採用に関する法律及び地方公務員法の規定に基づき、職員の任期を定めた採用を実施するための必要な事項を定めたものです。

議案第64号 東栄町職員の定年等に関する条例の一部改正について

対象施設の見直しをした結果、東栄病院付属御殿診療所を削除するものです。

議案第65号 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について

東栄病院の公営化に伴い、社会医療法人財団せせらぎ会を派遣対象団体から外すものです。

議案第66号 東栄町職員の勤務時間休暇等に関する条例の一部改正について

一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定に伴い、関連する事項について改正するものです。

議案第67号 東栄町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、非常勤職員の育児休業について例外的に2歳まで延ばすものです。

議案第68号 東栄町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

東栄病院の公営化に伴い、医師、看護師、技師等の特殊勤務手当を定めるものです。

議案第69号 東栄町医療・介護職等修学資金貸与条例の一部改正について

貸与の対象となる施設のうち、地域包括支援センターの名称及び所在地を変更するものです。

議案第70号 東栄町看護職就職支度金貸与条例の一部改正について

東栄病院の公営化に伴い、支度金貸与の対象者の規定を改正するものです。

議案第72号 東栄町職員の給与に関する条例の一部改正について

東栄病院の公営化に伴い、病院職員の給料等に関する事項を追加するものです。

議案第73号 町道路線の認定について

国道151号の太和金バイパス開通により、県より払い下げを受ける旧道について町道に認定するものです。

議案第74号 東三河広域連合規約の変更について

平成30年度から介護保険の事務を広域連合で処理するための関連事項と地域連携事業を追加するため、議会の議決を求めるものです。

議案第75号 北設広域事務組合理約の変更について

平成30年度から介護保険の事務を東三河広域連合が処理することに伴い、介護認定審査に関する事務について組合が処理する事務から削除するため、議会の議決を求めるものです。

議案第76号 平成29年度 東栄町一般会計補正予算(第7号)は、補正額460万7千円の増額補正であります。

おもな歳出ですが、総務費の一般管理費では、町長交際費に6万6千円、社会保障・税番号制度システム改修委託料に162万円を追加計上しました。

財産管理費では、旧東蘭目小学校の敷地内の危険木の伐採に14万7千円を新規に計上しました。

企画費では、若者定住奨励金に22万円、空き家活用支援補助金に50万円を追加計上しました。

町営バス運営対策費では、御園線等の車両修繕費に34万2千円を追加計上しました。

税務総務費では、納付書用の窓空き封筒等の作成に17万9千円を追加計上しました。

民生費の社会福祉費では、介護職員就職助成金に20万円を追加、平成28年度臨時福祉給付金事業の精算として返還金94万4千円を新規計上しました。

国民年金事務取扱費では、報告様式を統一するため国民年金システム改修に75万6千円を新規計上しました。

障害者福祉費では、平成30年度からの制度改正によるシステム改修に475万2千円を新規に、介護給付が増えたことに伴う障害者自立支援給付費に686万4千円を追加計上しました。

老人福祉費では、緑風園に係る明峰福社会委託料として241万3千円を、1名入所者が増えたことにより老人保護措置費に123万4千円を追加計上しました。

児童福祉総務費では、子育て支援医療費に30万7千円を追加、平成28年

度の児童手当等の精算として返還金 88 万 5 千円を新規計上しました。

保育園費では、本郷、下川両保育園とも園児が増えたことによる給食の賄材料費として 50 万円を追加計上しました。

衛生費の保健衛生総務費では、保健師の産休に伴う措置として、臨時職員を 1 名雇い入れるための経費として 63 万 4 千円を追加計上しました。

農林水産業費の農業振興費では、県の元気な愛知の市町村づくり補助金が不採択になったことに伴い、とうえい山菜王国研究会への補助金 36 万 2 千円を追加計上しました。

林業振興費では、30ha の切捨て間伐を予定している環境林整備に 150 万 2 千円を追加計上しました。

林道事業費では、林道下モ山線舗装事業の県補助金が減額されたことに伴い、事業量を減らし 410 万円を減額計上しました。

商工費の観光費では、地域おこし協力隊の naori 事業に係る経費として 15 万 1 千円を追加計上しました。

地域振興費では、東栄インターチェンジ周辺整備事業を見直すことに伴い、委託料 765 万 2 千円を減額計上しました。

温泉施設費では、機械等の修繕費、空調機の定期点検及び高圧洗浄機購入に 145 万 5 千円を追加計上しました。

土木費の道路橋梁維持費では、道路の維持等に使用しているタイヤショベルの修繕に 13 万 9 千円を追加計上しました。

住宅管理費では、入退去の際の修繕費用として 437 万 2 千円を追加、平井住宅の移転補償費として 80 万円を新規計上しました。

消防費の消防施設費では、第 3 分団下田詰所のホース乾燥塔の修繕に 71 万 3 千円を追加計上しました。

教育費の小学校教育振興費では、平成 30 年度から道徳教育に新しい教科書を導入することに伴い、指導用の教科書購入に 19 万 5 千円を追加、来年度入学児童が 29 名見込まれることから、不足するロッカーを購入するため 9 万円を新規計上しました。

学校施設整備費では、来年度児童予定数が、当初の見込みより 10 名増えることから机といすの購入に 24 万 9 千円を追加計上するものです。

中学校施設整備費では、消防設備の不良箇所と台風 20 号による武道館外壁の修繕に 36 万 4 千円を追加計上しました。

おもな歳入については、町税で 229 万 2 千円、国庫支出金で障害者自立支援給付費等負担金、社会保障・税番号制度システム整備費、地域生活支援事業費等に総額で 868 万円、県支出金で元気な愛知の市町村づくり補助金、障害者自立

支援給付費等負担金、環境林整備事業補助金等に総額で353万3千円、温泉の修繕等に高齢者いきいき健康増進基金繰入金145万5千円を増額しました。

繰越金は、今回の一般会計補正予算の財源調整のため、325万4千円を増額しました。

町債については、中央統合簡易水道建設の財源更正及び林道下モ山線事業の減額に伴い1千460万円を減額しました。

議案第77号 平成29年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)は、877万2千円の減額補正であります。おもな内容は、退職被保険者の保険給付費、後期高齢者支援金等及び介護納付金の減額です。

議案第78号 平成29年度東栄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)は、300万7千円の減額補正であります。

おもな内容は、後期高齢者医療広域連合納付金及び保険料等負担金の減額です。

議案第79号 平成29年度東栄町簡易水道特別会計補正予算(第2号)は、108万8千円の増額補正であります。主な内容は、繰越金確定による財源更正と公債費の増額です。

議案第80号 平成29年度東栄町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)は、75万円の増額補正であります。主な内容は、前年度課税期間分の消費税納付額の増額です。

議案第81号 平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算(第4号)は、収益的収入及び支出の旅費及び通信費9万4千円の増額補正であります。

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

平成30年3月31日をもって委員4名が任期満了となるため、員の推薦について議会の意見を求めるものです。

以上であります。詳細については副町長はじめ担当課長から説明をいたしますので、よろしくご審議のほどお願いします。